

NETWORK

にしかわ

1

2026
No.838

P.2-3

新年のご挨拶

P.4-5

物価高騰対策



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・

お問い合わせなどは、町のホームページをご覧ください。

新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。「職員の上司は町長。町長の上司は、町民の皆さま」という思いを胸に働いてまいりますので、本年もご助言ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

町長就任以降、町民の皆さまの「すっだいこと」を実現するため、「稼ぐ!」「つながる!」「育む!」「支えあう!」まちづくりに向けて奔走してまいりました。町や地域のため、花火大会の復活など、職員・町民の皆さまと共に果敢に挑戦できたことを嬉しく、またありがたく感じております。おかげさまで、西川町には、デジタル政策や町民の皆さまが楽しむ拠点づくり（いきいきサロン・ミニデイ）などの視察に、年間500名以上の方にお越しいただいております。

今年の干支「午（うま）」は、飛躍・挑戦の象徴です。挑戦に困難は付き物であり、成果が実るまで時間を要することもあります。しかし、私は、町民の皆さまのご要望の一つでも多く形にし、笑顔をお届けできるよう、そして子どもたちが「自分もまちづくりに関わりたい」と思っていただけるよう、スピード感を持って挑戦してまいります!

1 「すっだいこと」の実現には「稼ぐ!」必要があります

「町道を直してほしい」「このような補助があれば一人でも安心して暮らせる」といった地域の声を形にするためには、職員の「企画力」と「財源確保」が不可欠です。具体的には、職員は町民の皆さまとの対話を通じて企画を練り、要綱を整えて確実に事務を遂行する。そして私は、町の代表として国や民間企業に直接要望して、財源を確保してまいります。「一人の限界」が「町の限界」とならないよう、それぞれが役割を果たせる組織を目指し、職場内で対話を重ねてまいります。



2 人と「つながる」ことで「実行力」を高めてまいります

地域や町として「すっだいこと」を実現し、お困りごとを解決するためには、自分たちに足りない部分を得意な方や専門的な知見を持つ方に頼むことで、物事が飛躍的に進むことを経験いたしました。

町としては、課題解決に向けた協力者を紹介できる「つながり」をつくり、町や地域で「すっだいこと」を語り合える雰囲気がつくれるよう、私が先頭に立って旗を振ってまいります。



3 観光の好機を活かす!

昨年、世界170を超える国と地域で購読されているビジュアルマガジン「ナショナルジオグラフィック」の「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に「山形県」が選出されました。その中で、西川町は次のように紹介されました。

『国連世界観光機構によって「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」に選ばれた西川町は、毎年冬に約6メートルの積雪があり、6月でもスキーを楽しめるほどです。出羽三山の一つである月山を擁する西川町は、古くから巡礼者を惹きつけてきましたが、現在では工芸体験や料理体験など、持続可能な観光を展開しています。』

この好機を活かし、山形駅や銀山温泉からの観光客誘致を講じるほか、三山信仰などの「精神文化」の魅力を深く伝えられるガイドを育成していきたいと考えております。



引用元: <https://www.nationalgeographic.com/travel/best-of-the-world-2026/article/yamagata-japan>

4 「担い手」の確保・育成

西川町では今、人口減少に起因する多くの課題を抱えています。世界から注目されつつある今の西川町の魅力を失うことなく、次世代へつないでいくため、「担い手」の確保・育成を徐々に強化してまいります。

西川町の美しい森林、田畑、山菜、おもてなしの心、三山信仰、伝統行事、そして文化財。これらを守り残すためには、それを受け継ぐ「担い手」が不可欠です。その担い手は、町内にられるのか、あるいは町外にられるのかは分かりません。「担い手」の発掘・育成には時間を要し、これまで行政として深く踏み込めなかった分野でもあります。しかし、取り返しがつかなくなる前に、この困難な課題に正面から向き合い、行政としてどのような支援ができるかを真剣に考えてまいります。



5 前進と反省

これらを実践するための土台は、地域課題をしっかりと把握し、人と深くつながることです。そのためには、元気なあいさつと教えてもらったことを書き留めることが必要です。この愚直な反復こそが、皆さまの課題解決や「担い手」確保の最初の一步です。職員とともに私自身も実践してまいります。

また、昨年は、私自身として未熟な部分があり、町民の皆さまにはご心配をおかけしました。反省すべきところは反省し、前を向くところは前進していきたいと思います。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして、希望と笑顔にあふれる一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

西川町長 菅野 大志

物価高騰対策

令和7年12月16日、国の令和7年度補正予算が成立し、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」が拡充されました。この交付金は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細かに必要な事業を実施できるように支援するものです。

これを受けて町でも交付金の活用事業を計上した補正予算を作成し、議会にて可決されました。

総事業費 1億2,806万円

主要事業概要

国の支援策を総動員して、「家計直結」の物価高騰対策などを実施します

全町民

物価高騰対策
地域クーポン券



所得制限なく
2万円/人

※令和8年1月1日時点で町内に住所を有している町民

全町民

水道基本料金無償化



令和8年2月～4月
3か月

子育て世帯

子育て応援手当



18歳までの子ども
2万円/人

高齢者

介護施設に対する
施設維持支援



高齢者

移動販売車
見守り支援



施設

あいべ・保育園
維持費高騰対策





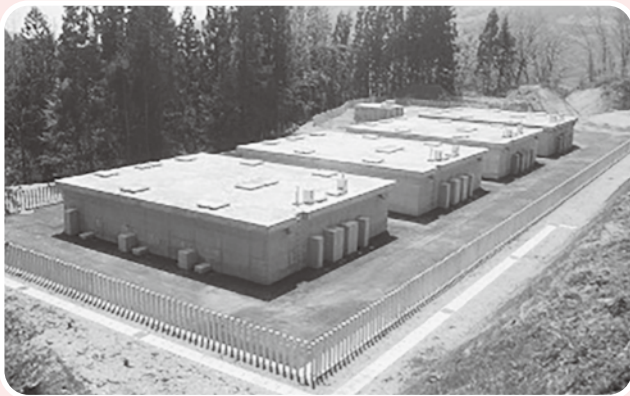
▲交流センターあいべ



▲保育園

■物価高騰対策事業

事業名	事業費	概要	具体的な内容
物価高騰対策事業	9,300万円	物価高騰の影響を受けている町民に対して、町内の小売店・飲食店などの取扱店で使える商品券を配付するもの。	■対象 R8.1.1時点で町内に住所を有している町民 ■給付金額 2万円/人(1枚500円相当) ■使用期間 3月中旬～6月下旬(予定)
水道料金減額事業	1,925万円	経済的負担の増加に直面している町民等を支援するため、水道料金の基本料金を減額するもの。	■対象 町民、町内事業者など ■減額対象 水道基本料金の3か月分を無償化
物価高騰対応子育て応援手当給付金	879万円	物価高の影響が大きい子育て世帯を力強く支援するための子育て応援手当の支給	■対象 18歳までの子ども ■支援額 2万円/人
介護施設等に対する物価高騰支援	182万円	物価高騰の影響を軽減し、安心して質の高い福祉サービスの安定的な提供を図るため、介護施設等への運営支援	■対象 町内で運営されている介護施設等 ■給付額 定員数に応じて町が算出する額
高齢者見守り移動販売事業支援給付金	150万円	事業継続による地域内の買物環境の空白化回避と高齢者の見守りを組み合わせた事業を支援するもの。	■対象 移動販売事業者 ■支援額 50万円×3事業者
冬季暖房代補助事業	330万円	対象者の冬期間の生活の安定と経済的負担の軽減を図るため灯油の購入費等を支援	■対象 住民税非課税世帯のうち、以下に該当する世帯 ・65歳以上の高齢者のみの世帯 ・重度障がい者(身体障害者手帳1・2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳1級)のいる世帯 ・ひとり親と18歳までの子(当該年度に18歳に到達する子を含む)のいる世帯 ■支援額 1万円/世帯
公共施設エネルギー価格高騰対策事業	40万円	直接住民の用に供する施設の運営に際し、燃料等高騰への対策として交付金を活用するもの。	■交流センターあいべ 20万円 ■にしかわ保育園 20万円



▲水沢浄水施設



▲高齢者見守り移動販売業



■ 毎日の生活を見直して 生活習慣病を予防しましょう！

生活習慣病とは、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒など生活習慣が関係する疾患で、高血圧症、糖尿病、高脂血症、肥満、がん、脳卒中、心臓病などが含まれます。発病しても進行するまで症状がないという特徴がありますが、生活習慣を見直し、改善することで予防することができます。今回は食事、運動・休養の対策を紹介します。

食

- 1日3食、規則正しくとりましょう
- バランスのとれた食事を心がけましょう
 - ・主食、主菜、副菜を揃え、野菜や果物、乳製品などまんべんなく食べる
- ゆっくりよくかんで食べましょう
 - ・満腹感、消化吸収を高め、血糖値上昇を穏やかにします
- 減塩を心がけましょう
 - ・出汁や香辛料を活用し調味料を減らす
 - ・加工食品の摂取を控え、麺類の汁は残す

運動・休養

- 今よりも少しでも多く身体を動かしましょう
 - ・1日プラス10分
- 座りっぱなしの時間が長くないようにしましょう
 - ・立ったり、少しでも体を動かす
- 休養をしっかりととりましょう
 - ・十分な睡眠時間を確保する
(適正な睡眠には個人差はあるが6時間以上、高齢者は8時間以上にならないのが目安)
 - ・趣味やリラックスできる活動で心身をリフレッシュする

■ やったね！ 虫歯ゼロのお友達

12月に行われた3歳児健診の歯科検診で「虫歯ゼロ」だったお子さんです。

よしだ れい
吉田 怜生くん▶



伊藤貢先生の

元気アップ！運動教室 PART329

今月のテーマ：「その座り時間、大丈夫？
～少し動くだけで変わる未来～」



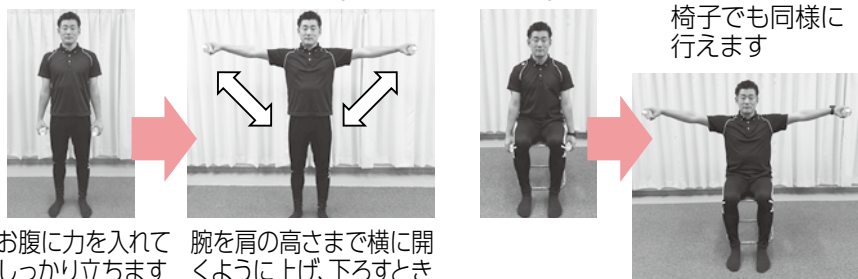
山形済生病院
健康増進センターめぐみ
健康運動指導士 伊藤 貢

台湾の大人約48万人を長期間にわたり調査し、仕事上の座位時間や余暇の身体活動が、総死亡や心血管疾患による死亡リスクにどのように影響するかを調べた研究があります。

その結果、座りっぱなしの仕事をしている人は死亡リスクが高いことが示されました。しかし、1日15～30分ほど体を動かす習慣を持つことで、そのリスクを低減できる可能性も示されています。

長時間座る生活が多いと感じる方は、意識して「少しでも動く」ことが、健康への第一歩につながります。

西川町では、毎週水曜日の14:00～15:30に「楽楽運動教室（奇数週）」と「ゆる楽運動教室（偶数週）」を開催しています。寒さや雪でこもりがち・座りっぱなしになりやすいこの時期に、定期的に体を動かす時間として、ぜひ教室をご活用ください。

ペットボトルを使って筋トレ！肩を鍛えましょう！
(10回×2セット)

椅子でも同様に
行えます

参考・引用資料
公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 健康づくり
2025.11 P24 運動・身体活動のエビデンス221
余暇の身体活動量の増加は、仕事上の長時間の座位行動による死亡リスクの上昇を軽減させる

●注意点
体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
呼吸を止めずに行いましょう。

ご紹介した運動についてご不明な点がありましたら、毎週水曜日14時から開催している運動教室にてご確認ください。

■ 犬と猫の本

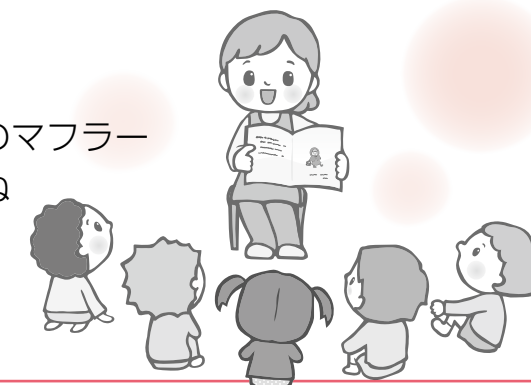
11月1日犬の日、2月22日猫の日を記念して犬と猫の本の展示貸出を開催しています。大人気の岩合光昭さんの写真集も貸出可能です！ぜひご来館ください。



1月のおはなし会

- ・おはいんなさい
- ・おふろだいすき
- ・てぶくろ
- ・ばばあちゃんのマフラー
- ・おもちゃちゃんがね
- ・こうさく

1月17日土曜日 10時30分から



放課後子ども教室にしかわ

活動紹介

12月25日あいべにてクリスマス会を開催しました。午前中は、スポーツ推進委員の皆様のご協力を得て、体育館でクリスマス・フィットネス（体力測定）にチャレンジ！昼食はかわどい亭さん提供カレーに舌鼓。午後からは、ボランティアに来てくれた中学生とランプシェード作りとクリスマスミニケーキのデコレーション。みんなで「動いて・作って・食べて・遊んで」ととても楽しい時間を過ごしました！！

そして、1月5日から新年を迎えた放課後子ども教室。元気な子供たちの姿にスタッフも笑顔。今年も楽しく元気いっぱい放課後子ども教室開催します！！



放課後子ども教室にご協力いただける方、子どもたちと一緒に活動したい持ち込み企画がある方など大募集中です！

【お問合せ】
まなぶ課 ☎0237-74-2114

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

啓翁桜出発式が行われました！

12月16日、啓翁桜促成室（吉川地区）において、啓翁桜の出発式が行われました。

啓翁桜は、冬に出荷することのできる西川町の重要な農産品であり、町としても生産やP Rの支援を実施してきています。

令和7年は、夏の高温・少雨により、啓翁桜の生育が危ぶまれたこともありましたが、生産者の皆様の卓越した生産技術により無事生育し、出荷の日を迎えることができました。

啓翁桜は、首都圏を中心に出荷され、「お正月に咲く桜」として楽しめます。1月14日には、東京大田市場において町長がトップセールスを実施し、また、2月3日～2月9日には首都圏の日比谷花壇店頭で啓翁桜を販売するフェアも予定されています。

引き続き啓翁桜の生産やP Rを継続してまいります。



▲テープカットの様子



啓翁桜が高市総理に届けられました！

1月9日、啓翁桜生産組合の金子光弥組合長が、啓翁桜日本一の生産地・西川町の生産者を代表して、高市早苗内閣総理大臣に啓翁桜をお届けされました。

高市総理への啓翁桜のお届けには、吉村山形県知事や、地元選出の衆議院議員である鈴木農林水産大臣も同席しました。

啓翁桜を受け取った高市総理からは笑みがこぼれ、「真冬の桜、最高でございます」とのありがたいお言葉をいただきました。

啓翁桜は、1月13日には鈴木憲和農林水産大臣にも改めてお届けしました。



▲啓翁桜を受け取る高市早苗内閣総理大臣（中央）と歓談

先輩から後輩へ伝える修学旅行の学び

12月4日、西川中学校にて、3年生が1・2年生に向けて「修学旅行発表会」を行いました。

3年生は9月2日から4日にかけて東京へ修学旅行に出かけ、班ごとに計5か所の関連企業を訪問し、発表会では訪問先で驚いたことや感銘を受けたこと、仕事の工夫や働く人の姿勢、また東京ならではの食事など、実体験を通して感じたことをスライドを交えて分かりやすく紹介しました。

1・2年生は先輩たちの話に熱心に耳を傾け、将来や進路について考える良い機会となり、実り多い学びが次の世代へと引き継がれる時間となりました。



▲発表会の様子

シーズン中の無事故を祈念 西川町民スキー場で安全祈願祭

本格的なスキーシーズンの幕開けを前に、西川町民スキー場で12月19日、今シーズンの安全祈願祭が行われました。

式典には、リフトや同センターを管理運営する月山観光開発(株)の社員や地権者、スキー関係者など約20名が出席。ゲレンデに設けられた祭壇の前で、神職による祝詞が奏上された後、参列者が玉串を捧げてシーズン中の安全と無事故、そして賑わいを祈願しました。

1月11日からオープン（当面、初級コース・休日日中限定）し、3月15日までの営業を予定しております。



▲安全祈願祭の様子



次世代育成へ強化支援金を贈呈

11月28日、西川町バレーボール協会から西川JVC（西川町バレーボールスポーツ少年団）に次世代のバレーボールプレーヤー育成を目的とし、強化支援金が贈呈されました。

この支援金は、同協会が年間を通じて取り組んできた事業収益を財源としたものです。収益を直接現場に還元することで、子どもたちがより良い環境で競技に打ち込める体制の整備を図っています。

同協会は今後も、事業活動を通じて得た収益をバレーボールの発展に役立てるサイクルを継続し、青少年の健全育成に寄与していく方針です。



▲強化支援金を手渡す様子

中学生サポーター誕生！西川中3年生に認知症サポーター養成講座を開催

12月16日、西川中学校3年生に向けて認知症サポーター養成講座を開催しました。中学生を対象とした講座は、今回が初めてとなり、健康福祉課、ケアハイツ西川、とこしえ西川共催で開催しました。

特に盛り上がった認知症寸劇では、認知症高齢者が徘徊する場面を職員が再現し、皆さんに対応方法を考えていただきました。職員の迫真の演技に笑いが起きながらも、対応のポイントをしっかりと学ぶことができました。

生徒の皆さんからは、「認知症の人や困っている人がいたら、ゆっくり優しく温かく接したい」「自分が認知症になってしまったときも周りの人に正しい知識を教えたい」「ひいおばあちゃんにたくさん会いに行きたい」といった温かい感想が聞かれました。



▲認知症高齢者に対応する中学生

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

新たな入間積載車ポンプ格納庫の完成を祝して

入間公民館に併設し、新たに整備された町消防団第三分団第三部（入間消防団）の積載車ポンプ格納庫において、12月20日、安全祈願祭並びに祝賀会が開催されました。

今回完成したポンプ格納庫は、旧入間消防ポンプ格納庫の老朽化に伴い、地域住民や消防団からの要望を受けて整備されたものです。安全祈願祭では、町消防団佐藤団長より関係者への感謝と、今後の消防活動に向けた決意を込めた祝辞が述べられ、併せて消防活動の無事と地域の安全が祈願されました。

祝賀会では、町から消防団へ積載車ポンプ格納庫の看板引き渡しを行い、来賓や関係者が完成を喜び合いました。

新しいポンプ格納庫の整備により、災害時の迅速な対応と消防体制のさらなる充実が図られ、今後も地域防災の要として消防団の活躍が期待されます。



▲町から消防団への引き渡し



▲ポンプ格納庫内装



▲完成した積載車ポンプ格納庫

未来につなぐ農業振興を 農業委員会が建議書を提出

12月25日に西川町農業委員会会長の阿部栄蔵さん（吉川）と会長職務代理者の佐藤達郎さん（大井沢）から、菅野町長に町の農業振興を図るための意見をまとめた「西川町農業施策に関する建議書」が手渡されました。

建議書では、西川町の持続可能な農業を未来につなぐための「農業担い手への支援対策」「農地の有効活用と対策」「農産物の生産向上対策」「有害鳥獣対策」の4つの提言が行われました。



▲菅野町長が建議書を受け取る様子

門松寄贈で迎える晴れやかな新年

12月22日、シルバー人材センターの皆さんが来庁し、町へ門松一對を寄贈してくださいました。門松は新年を迎えるにあたり欠かせない縁起物で、今年は役場をはじめ町内計6か所に設置されています。

これらの門松は、毎年センターの皆さんが心を込めて作成しているもので、竹や松の美しさが際立つ立派な仕上がりとなっています。来庁者や町を訪れる方々を華やかに迎え、新年への期待感を高めてくれ、温かなご厚意により町全体が晴れやかな気持ちで新年を迎えることができます。



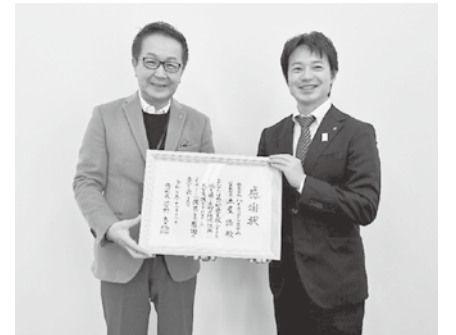
▲寄贈して下さったシルバー人材の皆さん

企業版ふるさと納税寄附企業に感謝状贈呈

◇株式会社ハイテックシステム(本社：山形市)より企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただきました。

12月17日、菅野町長から土屋代表取締役へ感謝状が贈られました。同社からは3年連続のご寄附となっております。ありがとうございます。本町への多大なご支援に深く感謝申し上げます。

◇活用事業：「地域の資源とデジタルを融合させた魅力ある産業・しごとづくり事業」



▲感謝状を受け取る土屋代表取締役

企業版ふるさと納税寄附企業への紺綬褒章伝達式を開催

12月17日に西川町役場にて、有限会社イーリスコーポレーション（本社：大阪府大東市）へ、紺綬褒章伝達式を執り行いました。紺綬褒章は公益の為に私財を寄附した個人や団体（個人：500万円以上、法人等：1,000万円以上）について、その功績が認められた場合に授与されるものです。このたびの受章は、同社より令和6年度、企業版ふるさと納税制度を通じて、浄水処理装置をご寄附いただいたことによるものです。浄水処理装置は本町の浄水施設が未整備の小山・軽井沢地域に設置され、これにより水道水の安心・安全な供給が可能となりました。本町への多大なるご支援に深く感謝申し上げます。



▲寄附いただいた亀井泰尚代表取締役（中央左）と記念写真

シスココンサルティング株式会社から大型モニターの寄附

12月10日、シスココンサルティング株式会社（本社：東京都千代田区）から町に大型モニター1台の寄附をいただきました。

同社は、町と啓翁桜生産組合が連携して実施している啓翁桜のスマート農業推進プロジェクトに協力いただいています。啓翁桜の生産拡大とスマート農業の推進に役立ててほしいと、このたび寄贈いただきました。

大型モニターは、吉川地区にある啓翁桜促成施設に設置し、出荷作業の効率化を図るシステムなどの投影に活用させていただきます。



▲目録を受け取る内藤副町長（左）と大井広行代表取締役（右）

拡大する鳥獣被害を減らすために JAさがえ西村山から箱わなの寄附

12月2日、さがえ西村山農業協同組合から町にクマ捕獲用の箱わな2基の寄附をいただきました。

西村山地区内で増加するクマによる農作物被害の軽減に役立ててほしいと、このたび寄贈いただきました。

箱わなは、町猟友会と連携したクマの捕獲活動に活用させていただきます。



▲目録贈呈の様子

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

ダム資源で地域を元気に！ ダム資源の活用を進める会を開催

12月16日、交流センターあいべにて「最上川水系におけるダム資源の活用を進める会」が開かれ、国土交通省東北地方整備局や最上川ダム統合管理事務所、寒河江ダム（西川町）、長井ダム（長井市）、白川ダム（飯豊町）の関係者が集まりました。

ダムを地域の力に変える振興策を共有し、水源地域をもっと元気にすることを目的としており、今回で3回目、西川町では初開催。寒河江ダムでは県内で3番目となるダムオープン化（※）を進めており、すでにオープン化指定を受けている長井ダム・白川ダムの活用策や課題についても意見交換が行われました。今後、ダムの魅力を生かした地域づくりに期待が高まります。

※ダムオープン化…ダムの湖面や周辺施設を観光やアクティビティ体験などに開放すること



▲ダムオープン化実証実験として行ったホビー体験の様子

雪原を歩き、雪上を駆ける「にしかわGASSANの冬」開幕！

西川町では、志津エリアでスノーシュー、弓張平エリア月山スノーランドでは雪遊びなど、豊富な雪資源を活用したアクティビティが多数そろっています。

12月13日、弓張平公園パークプラザにて「にしかわGASSANの冬」・オープニングセレモニーが行われました。参加者含め50名以上の皆様がお集まりいただき、西川町の冬が本格的に始まりました。このスノーシューツアーは滑る等の必要がなく、歩くことができれば誰でも参加でき初めての方でも楽しめる冬のアクティビティとなっております。

また、月山スノーランドは1月17日から3月29日まで営業を行う予定です。休日に家族や友人と過ごす際は、ぜひ月山スノーランドなどで雪遊びをお楽しみください！



▲セレモニーでの集合写真

西川町で遊んで、温泉で癒される一日！

12月21日、旧川土居小学校体育館を会場に、まちづくり団体「西川アスリートランニングクラブ」（代表：和賀誉）主催の「走遊祭」が開催されました。本イベントは、まちづくり団体活動補助金を活用して実施され、かけっこ遊びを通して陸上競技に興味を持ってもらう事を目的としたものです。当日は町内外から総勢60名が参加しました。

参加者からは、「障害物を飛び越えたりくぐったりするパルクールが面白かった」「公園のように楽しめた」などの声が寄せられ、会場は大いに盛り上がりました。

また、イベント後には参加賞の温泉券を利用して水沢温泉で汗を流す方も多く、西川町を存分に満喫していただく機会となりました。



▲走って、跳んで、楽しさ全開！

NTTデータの若手職員が西川町で課題解決型研修を実施

NTTデータの若手社員約30名が、西川町をフィールドに、地域の課題解決を考える独自研修を開催しました。同研修は、昨年に引き続き2年目となり、今年度は11月に町内で現地視察を行い、12月ににしかわイノベーションハブTRASで中間発表会を行い、最終発表をオンラインで開催しました。

12月17日に開催された最終発表会では、AIを活用したなんでもお悩み相談アプリケーションや、廃校を活用した地域の後継者不足を解消するプラットフォームづくりなどの提案をいただきました。企業連携による町の発展を図っていきます。



▲発表会での一枚

団子さしに込めた一年の願い

1月10日、自然と匠館を会場に、地域の伝統行事「団子さし」が行われました。参加者は思い思いに枝を選び、和やかに会話を楽しみながら団子をこね、色とりどりの団子を丁寧に枝へとさしていきました。飾り付けを終えた後は、五穀豊穡や無病息災を願い、参加者全員で祈願。その後、焼き団子やおしるこを囲みながら、笑顔あふれるひとときを過ごしました。子どもから大人まで世代を超えた交流が生まれ、終始あたたかな雰囲気に包まれた行事となりました。



▲笑顔あふれる集合写真



磐梯朝日国立公園の魅力を語るシンポジウムを開催！

12月22日、にしかわイノベーションハブTRASにて庄交コーポレーション主催の磐梯朝日国立公園の魅力を発信するシンポジウムが開催されました。

福島県を拠点に山岳ガイドとして活動するオレンジ後藤さんは、登山と周辺施設を融合した“山旅”について講演。また、パネルディスカッションに登壇した菅野町長は、国の交付金を活用した月山を含む西川町の広域観光について紹介しました。

今後はより一層関係者が連携し、広大なエリアを誇る国立公園を広域的に生かして、町内外の方々に愛されるコンテンツづくりを進めてまいります。



▲パネルディスカッションの様子

未来を考える中高生未来デザイン講座

12月20日、にしかわイノベーションハブTRASで、中高生の進路や将来の職業選択に役立ててもらうため、中高生未来デザイン講座「ふるさTALKらいぶ」を開催し、10名の中高生と保護者の皆さんが参加しました。

講師であるツキノワ合同会社代表の伊東優さんから、「ありがたい自分を見つけること」「世界を知るための挑戦」など、自身の経験や現在の仕事について語っていただきました。学生時代のユーラシア大陸の自転車横断や、目標を定め努力を重ねたお話に、参加者は感銘を受けた様子でした。

講演後の座談会では少人数ならではの質問・相談があり、参加者からは「人とのつながりの大切さを実感した」、「一級建築士の方と触れ合える良い機会になった」との声が寄せられ、学びと刺激に満ちた時間となりました。



▲講師の伊東さんと参加者の皆さん

～おめでとうございます～ Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

中学剣士が奮闘し、優秀な成績を収める!

12月6日、寒河江市市民体育館を会場に「第55回寒河江市長杯争奪剣道大会」が開催されました。本大会には、西川中と朝日中による合同チームとして出場し、日頃の稽古の成果を存分に発揮しました。

結果は、女子団体が見事優勝、男子団体も準優勝という優秀な成績を収めました。選手たちは互いに声を掛け合い、最後まで諦めずに試合に臨む姿が印象的でした。地域の枠を超えて力を合わせた今回の経験は、選手一人ひとりの成長につながるとともに、今後のさらなる飛躍への貴重な機会となりました。



おたすけ隊活動中! ～町のお困り事を手伝います～

【活動内容】

- 町民：啓翁桜雪囲い作業など、池の水草取り、お風呂掃除
- 地域活動：いってみっぺ手伝い
- 金子農園：スノーボール鉢移動
- 月山トラヤワイナリー：ラベル貼り作業
- 月山じょいふるふぁーむ：ペレット袋詰め作業
- まちづくり団体：保育園イルミネーション飾りつけ
- 西川町総合開発(株)：塩蔵わらびの袋詰め、たけのこ園地の整備
- 西川町役場：スノーポール設置作業、ミニデイ参加

放課後こども教室手伝い

9期：12月6日～12月26日（6人）



▲池の水草取りの様子

【お問合せ】

☎0237-74-2100 担当：堀・磯合

いそあい

郵便局ミニ対話会 ご意見・要望における回答

参加者 移住地域	ご意見等	回答
間 沢	新聞でリモート診療の記事を読み、薬の受け取りだけなら、非常に便利な制度だと感じた。西川町でも導入を検討して欲しい。	町立病院では、県の2年間の実証事業を経て、今年からオンライン診療を実施しています。定期受診の方には、医師の判断によりオンライン診療をご案内する場合があります。詳細については、病院事務係へお問い合わせください。また、今年度は院内の医療システムの更新と、令和8年度に実装予定の医療MaaS車両（医療機器を装備し車内や訪問でオンライン診療が可能となる車両）の準備を進めています。具体的な実施方法が決まり次第、改めて皆さまにご案内いたします。 ☎0237-74-2211【町立病院】
大井沢	冬場の大井沢浄水場は、どのように管理しているのか知りたい。	大井沢浄水場は、監視システムにより運転状況を常時確認しており、塩素の注入は自動で行っています。降雪前の水道施設の冬支度の際には、春まで使用する塩素をタンクに補充しています。また、施設に異常が発生した場合には、冬期間であっても職員が現地に向かい、状況を確認しています。 ☎0237-74-4411【建設水道課】

【お問合せ】つなぐ課町民つなぐ係 ☎0237-74-2112



ブナの森発表会

動物さんに変身! はじめての発表会

かぜ組による「ふぁんふぁん森のクリスマス」では、園児それぞれ自分のなりたい動物に変身し、かわいらしい姿でステージに登場。初めての発表会に、少し緊張しながらもドキドキ・ワクワクした表情で、一生懸命に発表する姿が印象的でした。発表が進むにつれて次第に笑顔も増え、会場からは温かい拍手が送られました。最後は町長から一人ひとりにクリスマスプレゼントが手渡され、園児たちはうれしそうに受け取りニコニコ。



▲動物に変身!

表現力あふれる たいよう組のステージ

たいよう組の発表は劇「てぶくろ」。たいよう組オリジナルのシナリオで展開された物語には、魔女やアイドル、剣士などの個性豊かなキャラクターが次々と登場し、会場を楽しませました。劇の途中には、音楽に合わせて元気いっぱいダンスを踊る場面もあり、園児たちのいきいきとした表情が印象的でした。物語の締めくくりには、園児たちが自分たちで作った楽器を使って演奏を披露。息の合った演奏に、成長を感じる温かな拍手が送られました。



▲レッツダンス!

迫力満点! そら組が届けたオペレッタ劇

年長そら組は、オペレッタ劇「さんまいのおふだ」を披露しました。物語のクライマックスである山姥に追いかける場面では、子どもたちが会場内を元気いっぱいに駆け回り、観ている人も思わず引き込まれる臨場感あふれる演出となりました。また、物語を進める一人ひとりのナレーションも堂々としており、言葉に気持ちを込めて表現する姿が印象的でした。年長児ならではの力強さや表現力が存分に発揮され、これまでの成長を感じられる素晴らしい発表となりました。



▲元気にお掃除します!

名水サミット 開催記念 町の水、町の暮らし

【月山山麓湧水群】

令和8年9月の名水サミット開催決定を受け、今号から毎回名水に関する記事を連載していきます。第1回は「月山山麓湧水群」についてご紹介します。

月山山麓湧水群は、月山の豊かな自然の中で湧き出る清らかな水源地です。この湧水群は、何百年にもわたって自然の力で育まれ、冷たく澄んだ水は、農業用水や飲料水として地域の生活を支えてきました。

湧水群にはそれぞれ異なる特徴があり、特に春から夏にかけては水量が豊富になり、四季折々の風景とともに訪れる人々に癒しを与えてくれます。また、周囲の山々と一体となり、自然環境の重要な拠点ともなっています。

月山山麓湧水群の一部は、山形県立自然博物館（西川町志津字姥ヶ岳159）内に湧き出ておりますので、ぜひご覧ください。



名水サミット
in にしかわ

▲名水サミットロゴマーク・
秋の地蔵沼

「名水サミット in 西川」▶
ホームページの
二次元コード



西川の雪景色



今月オープンした町民スキー場
から望む雪に包まれた冬の町並み。

月山志津温泉

雪旅籠の灯り

【開催期間】

1月31日～2月23日

※平日は宿泊者のみ

【点灯時間】17:00～20:00

土日祝は花火打ち上げ



▲詳しくはこちらから



編集雑記

あけましておめでとうございます。2026年の抱負は、家の掃除を定期的にする事です。年末の大掃除で後悔をしないよう、綺麗に保っていききたいと思います。

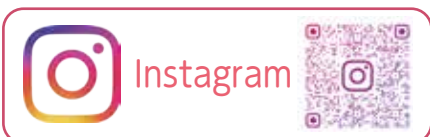
皆さまは今年の抱負を決めましたか？些細なことですが、話の種になればいいなと思います。

あらためまして、今年も
よろしくお願いいたします
します。(三瓶)



今月の西川景色

最盛期を迎える啓翁桜の
出荷作業を行う生産者の皆
さん。西川町が誇る啓翁桜
を全国へお届けします。



1/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,139人 女 2,239人 計 4,378人 世帯数 1,776
()は前月比 (−12) (−4) (−16) (−2)